

1 音読

学 年
組
名 前

○風景や気持ちを想像しながら、声に出して読んでみましょう。

故郷

高野辰之

うさぎ追ひし かの山

かの山・・・あの山

小ぶなつりし かの川

夢はいまも めぐりて

忘れがたき 故郷

忘れがたき・・・忘れられない

いかにいます 父母

いかにいます父母・・・

つつがなしや 友がき

父や母はどうしておられるだろうか

雨に風に つけても

つつがなしや友がき・・・

思いいずる 故郷

友だちはぶじだろうか

思いいずる・・・思い出す

こころざしを はたして

こころざしをはたして・・・

いつの日にか かえらん

夢を実現させて

山はあおき 故郷

かえらん・・・帰ろう

水は清き 故郷

2 漢字を読む1 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましょう。

① 楽 器 をならす 「あんしょう」

② 倉 庫 に入れる 「おぼ」

③ 鳥の 巣 「ひく」

④ 夜まで 働 く 「はいたつ」

⑤ 失 礼 な人 「でんれい」

⑥ 名 案 です 「はいたつ」

⑦ 練習を 続 ける 「くら」

⑧ たいへん 喜 ぶ 「ろうどう」

⑨ 人に 伝 える 「うしな」

⑩ 音を 変 える 「ぞっこう」

⑪ 詩の 暗 唱 「だいじん」

⑫ 倉 庫 をたてる 「ろうどう」

⑬ たいへん 喜 ぶ 「うしな」

⑭ 人に 伝 える 「ぞっこう」

⑮ 音を 変 える 「か」

⑯ 練習を 続 ける 「よろこ」

⑰ たいへん 喜 ぶ 「よろこ」

⑱ 人に 伝 える 「か」

⑲ 音を 変 える 「か」

⑳ 会を 続 行 する 「ぞっこう」

2 漢字を読む1②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① みんなの協カ力
「きょうりよく」
- ② 試シ合カに出る
「せいこう」
- ③ 成セイ功コウした人
「な」
- ④ 赤アカちゃんンが泣ナく
「わら」
- ⑤ 母ハハが笑ウ
「くん」
- ⑥ 訓クン読ンみ
「しゅるい」
- ⑦ 種シュ類ルイが多い
「はた」
- ⑧ 旗ハタをふる
「さんめんきょう」
- ⑨ 祖母ハハの三面鏡
「いちよう」
- ⑩ 胃イ腸チョウが弱じやくい
-
- ⑪ 南ナンの山サン脈マク
「さんみやく」
- ⑫ 消シヨウ化カ器キ官カン
「けっかん」
- ⑬ 血ケツ管カンが見みえる
「つた」
- ⑭ 気持キちを伝ツタえる
「へんか」
- ⑮ 色シキの変化
「とな」
- ⑯ 唱シヤウえる声
「みかく」
- ⑰ 味アジ覚カクをためす
「こうてい」
- ⑱ 山ヤマの高低
「こころ」
- ⑲ 登山トウサンを試みる
「かがみ」
- ⑳ 鏡カガミを見る

2 漢字を書く1 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

- ① 「楽 器」をならす
がっき
そうこ
- ② 「倉 庫」に入れる
す
- ③ 鳥の「巢」
はたら
- ④ 夜まで「働」く
しつれい
- ⑤ 「失 礼」な人
めいあん
- ⑥ 「名 案」です
つづ
- ⑦ 練習を「続」ける
よろこ
- ⑧ たいへん「喜」ぶ
つた
- ⑨ 人に「伝」える
か
- ⑩ 音を「変」える
-
- ⑪ 詩の「暗 唱」
あんしょう
おぼ
- ⑫ 顔を「覚」える
ひく
- ⑬ 「低」い声
はいたつ
- ⑭ 「配 達」する
でんれい
- ⑮ 「伝 令」を出す
だいじん
- ⑯ 「大 臣」のお話
くら
- ⑰ 「倉」をたてる
ろうどう
- ⑱ 「労 働」時間
うしな
- ⑲ 声を「失」う
ぞっこう
- ⑳ 会を「続 行」する

2 漢字を書く1②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

- | | |
|--|--|
| <p>① みんなの「協力」
しあい
きょうりよく</p> <p>② 「試合」に出る
せいこう</p> <p>③ 「成功」した人
せいかう</p> <p>④ 赤ちゃんが「泣」く
な</p> <p>⑤ 母が「笑」う
わら</p> <p>⑥ 「訓」読み
くん</p> <p>⑦ 「種類」が多い
しゅるい
はた</p> <p>⑧ 「旗」をふる
はた
さんめんきょう</p> <p>⑨ 祖母の「三面鏡」
いちょう</p> <p>⑩ 「胃腸」が弱い</p> | <p>⑪ 南の「山脈」
さんみやく</p> <p>⑫ 消化「器官」
きかん</p> <p>⑬ 「血管」が見える
けっかん</p> <p>⑭ 気持ちを「伝」える
つた</p> <p>⑮ 色の「変化」
へんか
と</p> <p>⑯ 「唱」える声
みかく</p> <p>⑰ 「味覚」をためす
みかく
こうてい</p> <p>⑱ 山の「高低」
こうてい
こころ</p> <p>⑲ 登山を「試」みる
かがみ</p> <p>⑳ 「鏡」を見る</p> |
|--|--|

3 漢字の読み方①

学年	
組	
名前	

① 同じ訓読み方の読み方の漢字を二つ書きましょう。

〔解答れい〕

- ① くらい
〔位・暗い〕

② あつい
〔熱い・暑い〕

- ③ かわる
〔変わる・代わる〕

- ④ たつ
〔立つ・建つ〕

- ⑤ はな
〔花・鼻〕

- ⑥ ひ
〔日・火〕

- ⑦ かわ
〔川・皮〕

- ⑧ はやい
〔早い・速い〕

② 同じ音読み方の漢字を二つ書きましょう。

〔解答れい〕

- ① か
〔家・化・科・花・貨・加・夏・火・果・歌〕

- ② かん
〔間・感・管・官・観・館・完・寒・漢・関〕

- ③ きゅう
〔級・急・球・給・休・救・求・究〕

- ④ こう
〔校・考・後・功・高・候・港・光・工・公・好・幸・交・行・口・広・康・航〕

- ⑤ けん
〔県・研・健・間・犬・験・見・建〕

- ⑥ とう
〔等・島・東・刀・頭・当・灯・投・冬・答・湯・登〕

- ⑦ さん
〔算・山・参・産・散〕

☆「訓」はその漢字の意味に合う日本語をあてはめたもの。

☆「音」は中国の発音をもとにしたもの。

3 漢字の読み方②

学年	
組	
名前	

1 | | を漢字になおして
「」に書きましよう。

- ① こうじよう
- ・ パンの「工場」
- ・ 成績せきの「向上」
- ② のぼる
- ・ 「上」り列車
- ・ 山へ「登」る
- ③ はやい
- ・ 朝が「早」い
- ・ 「速」い飛行機
- ④ かえる
- ・ 「帰」り道
- ・ 落とし物が持ち主に「返」る
- ⑤ あう
- ・ 先生に「会」う
- ・ 話が「合」う

2 | | の中に、下から漢字
をえらんで書きましよう。

- ① () 記 () 事 () 記・紀
- ② 結 () 果 () 「加・果」
- ③ 太 () 陽 () 「場・陽」
- ④ 夏 () 季 () 「季・委」
- ⑤ () 改 () 良 () 「回・改」
- ⑥ () 新 () 聞 () 親・新
- ⑦ 血 () 管 () 「管・官」
- ⑧ () 汽 () 車 () 「気・汽」
- ⑨ () 開 () 始 () 「開・会」
- ⑩ 電 () 池 () 「池・地」

♪漢字は同じ読みがいくつかあることが多いので、漢字の練習の時には注意
発音が同じです。読みがちがう意味の言葉を「同音いぎ語」といいます。

4 漢字を読む2①

学 年
組
名 前

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 血を付ける 「かつ」
- ② 花の観察 「かんさつ」
- ③ 成功の例 「れい」
- ④ 記 録 用 紙 「きろく」
- ⑤ 水の実験 「じっけん」
- ⑥ 友だち関係 「かんけい」
- ⑦ 大学の博士 「はくし」
- ⑧ 難しい方法 「ほうほう」
- ⑨ 話合いの結果 「けっか」
- ⑩ 機会をのがす 「きかい」
-
- ⑪ かわいい孫 「まご」
- ⑫ 貨物列車 「かもつ」
- ⑬ 多くの芸 「げい」
- ⑭ 右側へ行く 「みぎがわ」
- ⑮ 学校付近 「ふきん」
- ⑯ 「たとえば・・・」 「たと」
- ⑰ 関係所を通る 「せきしょ」
- ⑱ 糸を結ぶ 「おす」
- ⑲ 地の果て 「は」
- ⑳ 子孫を残す 「しそん」

▷ 「博士」
「はくし」大学の学位にかかわるもの
「はかせ」学問やその方面の知識・技術に詳しい人

4 漢字を読む2②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 友だちを 選|ぶ 「えら」
- ② リレーの 作|戦 「さくせん」
- ③ 副|議長 になる 「ふくぎちよう」
- ④ 連|なる 山 「きようつうてん」
- ⑤ 共|通点 をさがす 「じてん」
- ⑥ 辞|典 を使う 「こな」
- ⑦ 粉| ミルク 「せつめい」
- ⑧ 本|の 説|明 「べんり」
- ⑨ 便|利 な物 「じゆん」
- ⑩ 多|い 順| 「たよ」
-
- ⑪ もの知り 博|士 「はかせ」
- ⑫ はこの 側|面 「せんしゆ」
- ⑬ 選|手 になる 「ともだち」
- ⑭ 女|の 友|達 「たたか」
- ⑮ 本|気の 戦|い 「れんきゆう」
- ⑯ 楽|しい 連|休 「とも」
- ⑰ 共|に 行く 「かふん」
- ⑱ 花|粉 をつける 「と」
- ⑲ 理|由を 説|く 「たよ」
- ⑳ 学|校の 便|り

4 漢字を書く2 ①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

- | | |
|--|--|
| <p>① 血を「付」ける
つ
かんさつ</p> <p>② 花の「観 察」
れい</p> <p>③ 成功の「例」
きろく</p> <p>④ 「記 録」用紙
じっけん</p> <p>⑤ 水の「実 験」
かんけい</p> <p>⑥ 友だち「関 係」
はくし</p> <p>⑦ 大学の「博 士」
ほうほう</p> <p>⑧ 難しい「方 法」
けっか</p> <p>⑨ 話合いの「結 果」
きかい</p> <p>⑩ 「機 会」をのがす</p> | <p>⑪ かわいい「孫」
まご
かもつ</p> <p>⑫ 「貨 物」列車
げい</p> <p>⑬ 多くの「芸」
みぎがわ</p> <p>⑭ 「右 側」へ行く
ふきん</p> <p>⑮ 学校「付 近」
たと</p> <p>⑯ 「例」えば・・・
せきしよ</p> <p>⑰ 「関 所」を通る
むす</p> <p>⑱ 糸を「結」ぶ
は</p> <p>⑲ 地の「果」て
しそん</p> <p>⑳ 「子 孫」を残す</p> |
|--|--|

4 漢字を書く2②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

- | | |
|--|--|
| <p>① 友だちを「選」ぶ
えら</p> <p>② リレーの「作 戦」
さくせん</p> <p>③ 「副 議 長」になる
つら</p> <p>④ 「連」なる 山
きょうつうてん</p> <p>⑤ 「共 通 点」をさがす
じてん</p> <p>⑥ 「辞 典」を使う
こな</p> <p>⑦ 「粉」ミルク
せつめい</p> <p>⑧ 本の「説 明」
べんり</p> <p>⑨ 「便 利」な物
じゆん</p> <p>⑩ 多い「順」</p> | <p>⑪ もの知り「博 士」
はかせ</p> <p>⑫ はこの「側 面」
そくめん</p> <p>⑬ 「選 手」になる
せんしゅ</p> <p>⑭ 女の「友 達」
ともだち</p> <p>⑮ 本気の「戦」い
たたか</p> <p>⑯ 楽しい「連 休」
れんきゅう</p> <p>⑰ 「共」に行く
とも</p> <p>⑱ 「花 粉」をつける
かふん</p> <p>⑲ 理由を「説」く
と</p> <p>⑳ 学校の「便」り
たよ</p> |
|--|--|

5 漢字辞典の使い方

学 年	
組	
名 前	

① 次の漢字の部首名と、部首の画数を書きましよう。

漢字	話	験	国	間	病	究
部 首 名	ごんべん	うまへん	くにがまえ	もんがまえ	やまいだれ	あなかんむり
画数	七画	十画	三画	八画	五画	五画

② 次の漢字の音・訓を書きましよう。

漢字	倉	働	粉	説	連	成
音	ソウ	ドウ	フン	セツ	レン	セイ
訓	くら	はたら(く)	こな	と(く)	つら(なる)	な(る)

く部首さくいん、総画さくいん、音訓さくいんを使ってさがします。

6 漢字を読む3

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 席 | を決める
「せき」
- ② 先に 飛 | び出す
「と」
- ③ 一 | 位 | になる
「とくせい」
- ④ 特 | 製 | 弁当
「にとうしょう」
- ⑤ 二等賞 | を取る
「うめ」
- ⑥ 梅 | の花がさく
「しっぱい」
- ⑦ いたい 失 | 敗 |
「しお」
- ⑧ さとうと 塩 |
「さいご」
- ⑨ 最 | 後 | のページ
「やじるし」
- ⑩ 矢 | 印 | をつける
「いんさつ」
-
- ⑪ 松竹梅
「しろうちくばい」
- ⑫ 一 | 輪 | の花
「いちりん」
- ⑬ 文書の 印 | 刷 |
「いんしょう」
- ⑭ 印 | 象 | が変わる
「ひこうき」
- ⑮ 飛行機 | にのる
「くらい」
- ⑯ 百の 位 |
「やぶ」
- ⑰ 一回戦で 敗 | れる
「えんぶん」
- ⑱ 塩 | 分 | が強い
「もつと」
- ⑲ 最 | も少ない
「ぞう」
- ⑳ 象 | の鼻は長い

6 漢字を書く3

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

せき

① 「席」を決める

と

② 先に「飛」び出す

いちい

③ 「一」位」になる

とくせい

④ 「特 製」弁当

にとうしょう

⑤ 「二等賞」を取る

うめ

⑥ 「梅」の花がさく

しっぱい

⑦ いたい「失 敗」

しお

⑧ さとうと「塩」

さいご

⑨ 「最 後」のページ

やじるし

⑩ 「矢 印」をつける

しょうちくばい

⑪ 「松 竹 梅」

いちりん

⑫ 「一 輪」の花

いんさつ

⑬ 文書の「印 刷」

いんしょう

⑭ 「印 象」が変わる

ひこうき

⑮ 「飛行機」にのる

くらい

⑯ 百の「位」

やぶ

⑰ 一回戦で「敗」れる

えんぶん

⑱ 「塩 分」が強い

もっと

⑲ 「最」も少ない

ぞう

⑳ 「象」の鼻は長い

7 漢字を読む4

学 年
組
名 前

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 広 告 を見る
「ひつよう」
- ② 必 要 な物
「もくてき」
- ③ 目 的 を決める
「だいざい」
- ④ 題 材 さがし
「つつ」
- ⑤ きれいな 包 み紙
「お」
- ⑥ 折 り紙遊 び
「ざいりよう」
- ⑦ 用 意する 材 料
「ほうたい」
- ⑧ 包 帯 をまく
「しんがた」
- ⑨ 新 型 の時計
「ちよっけい」
- ⑩ 直 径 の長さ
「ちよっけい」
- ⑪ 調子が 良 い
「よ」
- ⑫ ゴミが 積 もる
「え」
- ⑬ お金を 得 る
「ぎよふ」
- ⑭ 漁 夫 の利
「つつ」
- ⑮ 気持ち を 告 げる
「かなら」
- ⑯ 必 ず使 用
「まど」
- ⑰ 的 に当てる
「こっせつ」
- ⑱ 足 の 骨 折
「おび」
- ⑲ 帯 をしめる
「てんけいてき」
- ⑳ 典 型的 な例

の☆
利「
漁
夫
こき者にそとつが
をがでつきてあそ
と得利第けすにいらう
るえ三こき`るそ方

7 漢字を書く4

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「」に書きましよう。

- | | |
|---|--|
| <p>① 「広 告」を見る
こうこく
ひつよう</p> <p>② 「必 要」な物
もくてき</p> <p>③ 「目 的」を決める
だいざい</p> <p>④ 「題 材」さがし
つつ</p> <p>⑤ きれいな「包」み紙
お</p> <p>⑥ 「折」り紙遊び
ざいりよう</p> <p>⑦ 用意する「材 料」
ほうたい</p> <p>⑧ 「包 帯」をまく
しんがた</p> <p>⑨ 「新 型」の時計
ちよっけい</p> <p>⑩ 「直 径」の長さ</p> | <p>⑪ 調子が「良」い
よ</p> <p>⑫ ゴミが「積」もる
つつ</p> <p>⑬ お金を「得」る
ぎよふ
え</p> <p>⑭ 「漁 夫」の利
つつ</p> <p>⑮ 気持ちを「告」げる
かなら</p> <p>⑯ 「必」ず使う
まと</p> <p>⑰ 「的」に当てる
こっせつ</p> <p>⑱ 足の「骨 折」
おび</p> <p>⑲ 「帯」をしめる
てんけいき</p> <p>⑳ 「典型的」な例</p> |
|---|--|

8 作文①

学年	
組	
名前	

① 次の①②の文章には、それぞれ二つのことがらが書いてあります。二つ目のことがらの始めの文の記号に○をつけましょう。

① ア みんなで、星を探さがしました。

イ はじめは、夏の大三角を探しました。

ウ 東の空から真上の空にかけて、三つの明るい星を見つけてきました。

エ ①次に、北極星を探しました。

オ 北の空で、カシオペヤぎをてがかりに見つけました。

② ア 理科室には、し育箱が二つあります。

イ 一つのし育箱には、アゲハチョウのよう虫がいます。

ウ セヒキいます。

エ もうすぐさなぎになると

オ ①なので、楽しみです。

カプトムシがいます。

カ 五ひきいるので、よくけんかします。

② 次の作文で、作者は何についてくわしく書いていますか。「〜」に書きましょう。

きのう、家族みんなで遊園地に行きました。

わたしは、父と弟の三人でジェットコースターに乗ることにしました。三十分まって先頭に乗ることができました。

はじめは、ゆっくり上って行きました。が、てっぺんに着くと急に下り始めました。わたしと弟は、大きな声を上げました。

次は、大きく二回転しました。最後は、後ろ向きで回転し、やっとゴールに着きました。ゴールに着くまで、大きな声を出していました。でも、とても楽しい思い出になりました。

わたしは、ジェットコースターのほかに、ゴーカートやメリーゴランドにも乗りました。

(解答例)

(父と弟の三人で) ジェットコースターに乗ったときのこと(ようす)

☆「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」「何をした」「を書くことが大切です。」

8 作文②

学 年	
組	
名 前	

1 次の文章は、松島に行ったことについて書いた文章の最初の部分です。二つのだん落に分けて、全文をあとのに書き写しましょう。

☆だん落の書き出しは、一字下げて書きます。

わたしは、家族で松島に行き、しおがまから船に乗りました。船では、におう島などの島を見たり、鳥にえさをあげたりして楽しくすごしました。船からおけると、松島水族館に行きました。アザラシのショーを見たり、ラッコを見たりしました。水族館では、写真をたくさんとりました。

わたしは、家族で松島に行き、しおがまから船に乗りました。船では、におう島などの島を見たり、鳥にえさをあげたりして楽しくすごしました。

船からおけると、松島水族館に行きました。アザラシのショーを見たり、ラッコを見たりしました。水族館では、写真をたくさんとりました。

9 漢字を読む5

学 年
組
名 前

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 初 | めての海
「はじ」 「せいき」
- ② 二十一 | 世紀
「まわ」
- ③ 学校の | 周 | り
「ねが」
- ④ 願 | いごと
「さんぎよう」
- ⑤ 伝 | 統 | 産 | 業
「しゅうまつ」
- ⑥ 楽 | しい | 週 | 末
「やさい」
- ⑦ 野 | 菜 | を | 食 | べる
「けんこう」
- ⑧ 健 | 康 | な | 生 | 活
「た」
- ⑨ 家 | を | 建 | てる
「ろうか」
- ⑩ 老 | 化 | した | 橋
「お」
- ⑪ 良 | 心 | がある
「めんせき」
- ⑫ 面 | 積 | を | 出 | す
「とくてん」
- ⑬ 得 | 点 | が | 入 | る
「たいりよう」
- ⑭ 大 | 漁 | 旗
「おっと」
- ⑮ 夫 | と | つ | ま
「しよきゆう」
- ⑯ そ | ろ | ば | ん | 初 | 級
「しゅうい」
- ⑰ 校 | 庭 | の | 周 | 囲
「がんしよ」
- ⑱ 願 | 書 | を | 出 | す
「う」
- ⑲ 女 | の | 子 | を | 産 | ぶ
「お」
- ⑳ 母 | が | 老 | いる

9 漢字を書く5

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

はじ

- ① 「初」 めての海
- ② 二十一 「世 紀」
- ③ 学校の「周」り
- ④ 「願」 いごと
- ⑤ 伝統 「産 業」
- ⑥ 楽しい 「週 末」
- ⑦ 「野 菜」 を食べる
- ⑧ 「健 康」 な生活
- ⑨ 家を「建」てる
- ⑩ 「老 化」 した橋
- ⑪ 「良 心」 がある
- ⑫ 「面 積」 を出す
- ⑬ 「得 点」 が入る
- ⑭ 「大 漁」 旗
- ⑮ 「夫」 とつま
- ⑯ そろばん 「初 級」
- ⑰ 校庭の「周 囲」
- ⑱ 「願 書」 を出す
- ⑲ 女の子を「産」む
- ⑳ 母が「老」いる

10 手紙文①

学年	
組	
名前	

① 工場見学でお世話になった人たちにお礼の手紙を書きます。お礼の手紙を書くときに、「前文・本文・末文・後づけ」ごとに書く内容を□からえらんで、記号で「」に書きましょう。

- ① 「前文」〔イ・カ・キ〕
- ② 「本文」〔ア・オ〕
- ③ 「末文」〔エ〕
- ④ 「後づけ」〔ウ〕

ア	とくに心にのこったことや分かったことなどを書く
イ	相手の様子をたずねる
ウ	日づけや自分の名前相手の名前を書く
エ	相手の健康をねがう言葉などを書く
オ	感しゃの気持ちを書く
カ	自分をしようかいする
キ	お礼の言葉を書く

② お礼の手紙を書くときに、気をつけることを、次の中からえらび、（ ）の中に○をつけましょう。

- (○) 手紙の形式に気をつける。
- () 相手を考えずふだん友達と使っている言葉で書く。
- (○) 相手を考えた言葉の使用方をする。
- (○) お礼の気持ちがよく伝わるように考えて書く。
- () 一度書いたらそのまま出す。
- (○) まちがいがないかどうか、出す前に見直す。
- () ひらがなだけで書く。

☆お礼とお礼の手紙では相手に伝えることがちがうので、目的に合わせて書きましょう。

10 手紙文②

学年		組		名前	
----	--	---	--	----	--

1 お世話になった方にお礼の手紙を「前文・本文・末文・後づけ」の内容に気をつけ、気持ちが伝わるように書きましよう。

(例)

☆「お礼の手紙」は()としていただき、ありがとうございます()を使います。

こんにちは。お元気ですか。〇〇小学校の宮城花子です。
先日は、インタビューに御協力いただき、大変ありがとうございました。おかげさまで、「私の町に伝わる伝統的行事」の発表を行うことができました。東山さんはじめ、神楽保存会の皆さんに協力していただいたアンケート結果も、表にまとめて発表しました。自分たちも満足できた内容になりました。
本当にありがとうございました。
平成二十四年一月十一日
宮城 花子
〇〇地区町内会
会長 東山太郎様

11 漢字を読む6①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 辺 | りの町 「あた」
- ② 投げ | 散 | らかす 「ち」
- ③ スプーンを | 置 | く 「お」
- ④ 中学校の | 生 | 徒 「せいと」
- ⑤ きれいな | 風 | 景 「ふうけい」
- ⑥ 浅 | い海 「あさ」
- ⑦ 反 | 省 | 文を書 | く 「はんせい」
- ⑧ 書 | き | 加 | える 「くわ」
- ⑨ あ | さ | が | お | の | 芽 | 「め」
- ⑩ 作 | 品 | の | 完 | 成 「かんせい」
-
- ⑪ 参 | 加 | した人 | たち 「さんか」
- ⑫ 京 | 都 | 府 「ふ」
- ⑬ 宮 | 城 | 郡 「ぐん」
- ⑭ 三 | 角 | 形 | の | 底 | 辺 「ていへん」
- ⑮ 朝 | の | 散 | 歩 「さんぽ」
- ⑯ い | す | の | 配 | 置 「はいち」
- ⑰ お | だ | を | 省 | く 「はぶ」
- ⑱ 会 | へ | の | 加 | 入 「かにゆう」
- ⑲ た | ね | の | 発 | 芽 「はつが」
- ⑳ 寺 | に | 参 | る 「まい」

11 漢字を読む6②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

「せんきよ」

① 選 挙 の 日

「とうひよう」

② 投 票 日

「がいとう」

③ 道 の 街 灯

「ぼくじよう」

④ 牧 場 の 牛

「りくじよう」

⑤ 陸 上 大 会

「さくねん」

⑥ 昨 年 の 運 動 会

「ぼうえんきよう」

⑦ 望 遠 鏡 で 見 る

「きぼう」

⑧ 希 望 の 光

「きしべ」

⑨ 岸 辺 の 花

「ち」

⑩ 花 が 散 る

「もんぶかがくしよう」

⑪ 文 部 科 学 省

「くわ」

⑫ 手 を 加 え る

「なまやさい」

⑬ 生 野 菜 を 食 べ る

「あ」

⑭ 手 を 挙 げ る

「まち」

⑮ 学 生 の 街

「のぞ」

⑯ 平 和 を 望 む

「らくご」

⑰ 落 語 を 聞 く

「やくひん」

⑱ あぶない 薬 品

「じゅつご」

⑲ 主 語 と 述 語

「きよしゆ」

⑳ 挙 手 す る

「町」は「市」に比べて、人口が少なく、市街地が狭い町。市街地が狭い町。市街地が狭い町。

11 漢字を書く6①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

- | | |
|--|--|
| <p>① 「辺」りの町
あ た</p> <p>② 投げ「散」らかす
ち</p> <p>③ スプーンを「置」く
お</p> <p>④ 中学校の「生 徒」
せい と</p> <p>⑤ きれいな「風 景」
ふう けい</p> <p>⑥ 「浅」い海
あ さ</p> <p>⑦ 「反 省」文を書く
はん せい</p> <p>⑧ 書き「加」える
く わ</p> <p>⑨ あさがおの「芽」
め</p> <p>⑩ 作品の「完 成」
かん せい</p> | <p>⑪ 「参 加」した人たち
さん か</p> <p>⑫ 京都「府」
ふ</p> <p>⑬ 宮城「郡」
ぐ ん</p> <p>⑭ 三角形の「底 辺」
てい へん</p> <p>⑮ 朝の「散 歩」
さん ぽ</p> <p>⑯ いすの「配 置」
はい ち</p> <p>⑰ おだを「省」く
は ぶ</p> <p>⑱ 会への「加 入」
か に ゆ う</p> <p>⑲ たねの「発 芽」
は っ が</p> <p>⑳ 寺に「参」る
まい</p> |
|--|--|

11 漢字を書く6②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

せんきよ

① 「選挙」の日

とうひよう

② 「投票」日

がいとう

③ 道の「街灯」

ぼくじよう

④ 「牧場」の牛

りくじよう

⑤ 「陸上」大会

さくねん

⑥ 「昨年」の運動会

ぼうえんきよう

⑦ 「望远镜」で見る

きぼう

⑧ 「希望」の光

きしへ

⑨ 「岸边」の花

ち

⑩ 花が「散」る

もんぶかがくしよう

⑪ 「文部科学省」

くわ

⑫ 手を「加」える

なまやさい

⑬ 「生野菜」を食べる

あ

⑭ 手を「拳」げる

まち

⑮ 学生の「街」

のぞ

⑯ 平和を「望」む

らくご

⑰ 「落語」を聞く

やくひん

⑱ あぶない「薬品」

じゅつご

⑲ 主語と「述語」

きよしゆ

⑳ 「拳手」する

12 文の組み立て①

学 年	
組	
名 前	

1 次の文の主語を（ ）に
述語を「 」に書きましょ
う。

① 父が、仕事から帰った。

主語（父が）

述語（帰った）

② 白い車が、目の前を通
った。

主語（車が）

述語（通った）

③ わたしは、母と病院に
行った。

主語（わたしは）

述語（行った）

④ 宮城県の人口は、年々
へっている。

主語（人口は）

述語（へっている）

⑤ 学校の花だんは、きれ
いだ。

主語（花だんは）

述語（きれいだ）

⑥ ぼくは、野球クラブに
入りました。

主語（ぼくは）

述語（入りました）

⑦ 教室のかべには、絵が
はってある。

主語（絵が）

述語（はってある）

⑧ 公園は、みんなの遊び
場だ。

主語（公園は）

述語（遊び場だ）

⑨ 青い空に白い雲がふわ
ふわうかんでいる。

主語（雲が）

述語（うかんでいる）

▼「主語」や「述語」を説明する言葉を抜くこと
「○」は「主語」に当てるのが「主語」、「○」だに当
たるのが「述語」と考えましょう。

12 文の組み立て②

学 年	
組	
名 前	

1 次の文の主語を（ ）に
述語を「 」に書きましょ
う。

① 宮城君が、歩いている。

主語（宮城君が）

述語（歩いている）

② 東北新幹線が、目の前
に止まる。

主語（東北新幹線が）

述語（止まる）

③ わたしのロボットが、
こわれた。

主語（ロボットが）

述語（こわれた）

④ 大きな花火が、夜空に
打ち上げられた。

主語（花火が）

述語（打ち上げられた）

▼「〇〇が」、「〇〇は」に当たるのが「主語」
の「わたし」、「大きな」は主語を説明している言葉です。
「わたし」、「大きな」は主語を説明している言葉です。

⑤ 東北自動車道は、おぼ
んにじゅうたいした。

主語（東北自動車道は）

述語（じゅうたいした）

⑥ わたしは、明日、動物
園に行きます。

主語（わたしは）

述語（行きます）

⑦ 落とし物には、持ち主
の名前がありません。

主語（名前が）

述語（ありません）

⑧ 林の方から鳥の鳴き声
が聞こえてきた。

主語（鳴き声）

述語（聞こえてきた）

⑨ 勉強を終えたわたしは、
その後、テレビを見た。

主語（わたしは）

述語（見た）

13 漢字を読む7

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 衣 食住 「い 」 「さべつ」
- ② 男女の 差 別 「しぜん」 「さべつ」
- ③ 自 然 が 多 い 「ちようせつ」
- ④ 目もりの 調 節 「ふべん」 「いじよう」
- ⑤ 不 便 な 場 所 「きねん」
- ⑥ 百 年 以 上 前 「しょうめい」
- ⑦ 天 然 記 念 物 「むりよう」
- ⑧ 明 る い 照 明 「こうねつ」
- ⑨ 無 料 に なる 「こうねつ」
- ⑩ 高 熱 が 出 る 「ふし」
-
- ⑪ 司 会 を する 「のこ」 「きゆうしよく」
- ⑫ おいしい 給 食 「れきし」
- ⑬ 残 さ ず 食 べ る 「せつきよくてき」
- ⑭ 積 極 的 に 話 す 「おうべい」
- ⑮ 歴 史 の 街 「さ」
- ⑯ 欧 米 の 文 化 「わか」
- ⑰ 刀 を 差 す 「てんねん」
- ⑱ 友 達 と 別 れ る 「ぜん」
- ⑲ 天 然 記 念 物 「ふし」
- ⑳ 竹 の 節

13 漢字を書く7

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

い しかい

① 「衣」食住 「司 会」をする

さべつ きゆうしよく

② 男女の「差別」 おいしい「給 食」

しぜん のこ

③ 「自然」が多い 「残」さず食べる

ちようせつ せっきよくてき

④ 目もりの「調節」 「積極的」に話す

ふべん れきし

⑤ 「不便」な場所 「歴史」の街

いじよう おうべい

⑥ 百年「以上」前 「欧 米」の文化

きねん さ

⑦ 天然「記念」物 刀を「差」す

しょうめい わか

⑧ 明るい「照明」 友達と「別」れる

むりよう てんねん

⑨ 「無 料」になる 「天 然」記念物

こうねつ ふし

⑩ 「高 熱」が出る 竹の「節」

⑪ 竹の「節」

⑫ おいしい「給 食」

⑬ 「残」さず食べる

⑭ 「積極的」に話す

⑮ 「歴史」の街

⑯ 友達と「別」れる

⑰ 天然「記念」物

⑱ 「無 料」になる

⑲ 「無 料」になる

⑳ 「高 熱」が出る

14 漢字を読む8

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

「ぶんりよう」 「な」

① 分 量 を考える

「せいしよ」

② 作文の 清 書

「せいりゆう」

③ 清 流 の水

「ついきゆう」

④ 追 求 する

「きゆうきゆうしや」

⑤ 救急車 をよぶ

「しゆくじつ」

⑥ 今月の 祝 日

「たししょう」

⑦ 多 少 のちがい

「ぶようじん」

⑧ 不用心 な家

「いんよう」

⑨ 文の 引 用

「て」

⑩ 明るく 照 らす

⑪ 仕事が無 い

「あつ」

⑫ 熱 い おふる

「ざんしよ」

⑬ 残 暑 のころ

「ざんせつ」

⑭ 残 雪

「はか」

⑮ 目方を 量 る

「きよ」

⑯ 身を 清 める

「しず」

⑰ 教室が 静 まる

「もと」

⑱ 真実を 求 める

「すく」

⑲ 人を 救 う

「いわ」

⑳ お 祝 いをする

「測る」 長さ、角度、熱を測定する
 「量る」 重さ、量を計量する
 「計る」 「計る」 時間、数を計る
 「図る」 夫意、図る
 「工」

14 漢字を書く8

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

- ① 「分量」を考える
ぶんりょう
- ② 作文の「清書」
せいりゅう
- ③ 「清流」の水
ついきゅう
- ④ 「追求」する
きゅうきゅうしや
- ⑤ 「救急車」をよぶ
しゅくじつ
- ⑥ 今月の「祝日」
たしやう
- ⑦ 「多 少」のちがい
ぶようじん
- ⑧ 「不用心」な家
いんやう
- ⑨ 文の「引用」
て
- ⑩ 明るく「照」らす
-
- ⑪ 仕事「無」い
な
- ⑫ 「熱」いおふる
あつ
- ⑬ 「残 暑」のころ
ざんしよ
- ⑭ 「残 雪」
はか
- ⑮ 目方を「量」る
きよ
- ⑯ 身を「清」める
しづ
- ⑰ 教室が「静」まる
もと
- ⑱ 真実を「求」める
すく
- ⑲ 人を「救」う
いわ
- ⑳ お「祝」いをする

15. 文と文をつなぐ言葉

学 年	
組	
名 前	

1 () に合う言葉を□か
らえらんで書きましよう。

① 右へ行こうか。(それ
とも) 左へ行こうか。

② 冬は近い。(しかし)
まだ寒くない。

③ わたしは手をあげた。
(そして) 発言した。

③ 雪がふっている。

(そのうえ) 風までふ
いてきた。

⑤ しばらくぶりですね。
(ところで) みなさん
は、お元気ですか。

そして・そのうえ・
それとも・ところで
・しかし

2 () に合う言葉を□か
らえらんで書きましよう。

① 兄は足が速い(し)、
泳ぎも速い。

② 夏は近い(が)、
まだ暑くない。

③ 運動会では、走っ(た
り)、おどったりしてが
んばった。

④ 雪がふった(ので)
雪だるまをつくった。

⑤ 学校に着く(と)、
みんなが待っていた。

ながら・し・ので・
たり・と・ば・が・
ても

☆「接続語」は、前の文と後の文をつなぎ、関係をはっきりさせる働きをします。

16 漢字を読む9①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① おいしい 果 物 「くだもの」
- ② 人と 競 争 する 「きょうそう」
- ③ アメリカの 兵 隊 「へいたい」
- ④ 日本の 民 族 「みんぞく」
- ⑤ 肉が 焼 ける 「や」
- ⑥ 勇 気 を出す 「ゆうき」
- ⑦ 食 堂 で食べる 「しょくどう」
- ⑧ 父を 信 じる 「しん」
- ⑨ 軍 隊 が来た 「ぐんたい」
- ⑩ 頭が 固 い 「かた」
-
- ⑪ 仲 良しの子 「なか」
- ⑫ 二 億 円 「おく」
- ⑬ 三 兆 円 「ちよう」
- ⑭ 殺 虫 ざい 「さっちゅう」
- ⑮ 労 働 組合 「ろうどう」
- ⑯ たんご 「たんご」
- ⑰ 単 語 を調べる 「たんご」
- ⑱ 競 馬 を見る 「あいらそ」
- ⑲ 先を 争 う 「あいらそ」
- ⑳ 魚を 焼 く 「いさ」
- ㉑ 勇 んで出かける 「いさ」

16 漢字を読む9②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 季 節がうつろう
「きせつ」
- ② 絵 札 を取る
「えふだ」
- ③ おいしい朝 ご飯
「えいよう」 「はん」
- ④ 栄 養 になる
「えいご」
- ⑤ 英 語 の勉強
「えいご」
- ⑥ さわやかな 気 候
「じちかい」 「きこう」
- ⑦ 自治会 に入る
「かた」
- ⑧ 土を 固 める
「こころ」
- ⑨ 虫を 殺 す
「ころ」
- ⑩ 千円 札
「さつ」
-
- ⑪ 飯 をたく
「めし」
- ⑫ 町が 栄 える
「さか」 「やしな」
- ⑬ 体力を 養 う
「おき」
- ⑭ 国を 治 める
「たたか」
- ⑮ 戦 いに行く
「やね」
- ⑯ 屋 根 付きの小屋
「たいれつ」
- ⑰ 隊 列 を作る
「すばこ」
- ⑱ 鳥の 巣 箱
「たんか」
- ⑲ 短 歌 と和歌
「なお」
- ⑳ けがを 治 す

16 漢字を書く9①

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「」に書きましよう。

くだもの

① おいしい「果物」

きょうそう

② 人と「競争」する

へいたい③

アメリカの「兵隊」

みんぞく

④ 日本の「民族」

や

⑤ 肉が「焼」ける

ゆうき

⑥ 「勇氣」を出す

しょくどう

⑦ 「食堂」で食べる

しん

⑧ 父を「信」じる

ぐんたい

⑨ 「軍隊」が来た

かた

⑩ 頭が「固」い

なか

⑪ 「仲」良しの子

おく

⑫ 二「億」円

ちよう

⑬ 三「兆」円

さっちゆう

⑭ 「殺虫」ざい

ろうどう

⑮ 「労働」組合

たんご

⑯ 「単語」を調べる

けいば

⑰ 「競馬」を見る

あらす

⑱ 先を「争」う

や

⑲ 魚を「焼」く

いさ

⑳ 「勇」んで出かける

16 漢字を書く9②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

- ① 「季節」がうつろう
きせつ えふだ
- ② 「絵 札」を取る
はん
- ③ おいしい朝ご「飯」
えいよう
- ④ 「栄 養」になる
えいご
- ⑤ 「英 語」の勉強
きこう
- ⑥ さわやかな「気 候」
じちかい
- ⑦ 「自治会」に入る
かた
- ⑧ 土を「固」める
ころ
- ⑨ 虫を「殺」す
さつ
- ⑩ 千円「札」
- ⑪ 「飯」をたく
めし さか
- ⑫ 町が「栄」える
やしな おさ
- ⑬ 体力を「養」う
おさ
- ⑭ 国を「治」める
たたか
- ⑮ 「戦」いに行く
やね
- ⑯ 「屋 根」付きの小屋
たいれつ
- ⑰ 「隊 列」を作る
すばこ
- ⑱ 鳥の「巢 箱」
たんか
- ⑲ 「短 歌」と和歌
なほ
- ⑳ けがを「治」す

す まり、う、こ、す
ま、あ、し、直す
りを、あ、し、よ
直

修学する、納税する、收成する、め国する、
め業、め金、め果、るを治
るを、るを、るを、るを、
め め め め

17 作文①

学 年	
組	
名 前	

① 次の文に最も合うものを、ア～ウのうちから選んで、記号に○をつけましょう。

① 光のページェントは、毎年十二月に仙台で
ア しました。
イ やっています。
ウ 行われます。

② 明日は、宮城県内の多くの所で花火大会が行われます。しかし、天気予ほうでは雨が
ア ふったということですから。
イ ふりそうです。
ウ ふりました。

③ 宮城県内では、「ひとめぼれ」が
ア なにげなく
イ 最も多く
ウ とんでもなく
植えられています。

④ 仙台七夕は、
ア あまり
イ とても
ウ すっかり
きれいで、
ア やっと
イ ぴったり
ウ はるかに
わたしの予想を
こえていた。

⑤ わたしたちは、宮城県内を流れる川で最も
ア 高い
イ 長い
ウ 細い
北上川を、
ア 下った。
イ 上った。
ウ 流れた。
イ カダで

⑥ 金華山きんかさんおきは、
ア なにげなく
イ ぼちぼち
ウ たくさん
魚がとれる
有名です。
あります。
成功です。
漁場として
ア
イ
ウ

18 漢字を読む10

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましょう。

「す」

① 好 きな人

「やくそく」

② 約 束 を守る

「りよひ」

③ 旅 費 の計算

「さ」

④ スープが冷める

「きかい」

⑤ 機 械 の工場

「もくひよう」

⑥ 目 標 をたてる

「か」

⑦ くつを借りる

「にゆうよく」

⑧ 入 浴 の時間

「かいりよう」

⑨ 土の改良

「まんぞく」

⑩ 満 足 な顔

「しようどく」

⑪ 手 の 消 毒

「ちよすいち」

⑫ 貯水池

「こうかい」

⑬ 航 海 に出る

「つと」

⑭ 早起きに努める

「すいがい」

⑮ 水 害 をふせぐ

「みらい」

⑯ 遠い未来

「じどうかい」

⑰ 児童会の歌

「かだい」

⑱ 課 題 が出る

「そつぎよう」

⑲ 小学校の卒業

「けっせき」

⑳ けがによる欠席

よない▼
ういけー
よーち
うによ
になす
しらい

18 漢字を書く10

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

- す
- ① 「好」 きな人
やくそく
- ② 「約 束」を守る
りよひ
- ③ 「旅 費」の計算
さ
- ④ スープが「冷」める
きかい
- ⑤ 「機 械」の工場
もくひよう
- ⑥ 「目 標」をたてる
か
- ⑦ くつを「借」りる
にゅうよく
- ⑧ 「入 浴」の時間
かいらよう
- ⑨ 土の「改 良」
まんぞく
- ⑩ 「満 足」な顔
-
- ⑪ 手の「消 毒」
しょうどく
ちよすいち
- ⑫ 「貯水池」
こうかい
- ⑬ 「航 海」に出る
つと
- ⑭ 早起きに「努」める
すいがい
- ⑮ 「水 害」をふせぐ
みらい
- ⑯ 遠い「未 来」
じどうかい
- ⑰ 「児 童 会」の歌
かだい
- ⑱ 「課 題」が出る
そつぎよう
小学校の「卒 業」
- ⑳ けがによる「欠 席」
けっせき

19 読み取り①

学 年	
組	
名 前	

① 次の文章を読んで、問題に答えなさい。

弟が、急に走り出しました。わたしと母は、びっくりして、弟を大声でよびとめました。

① 「だれ」が、走り出しましたか。

弟 が、走り出しました。

② 「だれ」が、弟をよびとめましたか。

わたしと母 が、よびとめました。

② 次の文章を読んで、問題に答えなさい。

わたしが、田んぼの近くの道を歩いていると、かえるがいっせいに鳴き出した。しばらくすると、雨が、ぽつぽつとふってきた。

① 鳴き出したのは、なんですか。

かえる です。

② ふってきたのは、なんですか。

雨 です。

♪問題を先に読んでから文章をじっくり読んでほしいですね。

20 漢字を読む11

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- ① 池を 囲む 「そこ」
- ② 川の底 しめい 「あ」
- ③ 氏名を書く かくち 「あらた」
- ④ 各地の風景 ていしゃ 「み」
- ⑤ 駅に 停車する 星を 愛する あい 「か」
- ⑥ 私の好物 こうぶつ 「か」
- ⑦ 読書を 好む はなたば 「かいてい」
- ⑧ 大きい花 束 「けしき」
- ⑨ きのおう 「けしき」
- ⑩ 昨日の こと
- ⑪ 氷が 冷たい 「しゃくよう」
- ⑫ 家の 借用 「あ」
- ⑬ 水を 浴びる 水を 浴びる 「あ」
- ⑭ ルールを 改める ルールを 改める 「あらた」
- ⑮ 月が 満ちる 月が 満ちる 「み」
- ⑯ どりよく どりよく 「か」
- ⑰ 努カ のあと 努カ のあと 「か」
- ⑱ 皿が 欠ける 皿が 欠ける 「か」
- ⑲ 湖の 周囲 しゅうい 「かいてい」
- ⑳ 暗い 海底 暗い 海底 「かいてい」
- ㉑ きれいな 景色 きれいな 景色 「けしき」

20 漢字を書く11

学 年	
組	
名 前	

1 漢字を「 」に書きましよう。

- | | |
|---|---|
| <p>① 池を「囲」む
かこ</p> <p>② 川の「底」
そこ</p> <p>③ 「氏名」を書く
しめい
かくち</p> <p>④ 「各地」の風景
ていしや</p> <p>⑤ 駅に「停車」する
あい</p> <p>⑥ 星を「愛」する
こうぶつ</p> <p>⑦ 私の「好物」
この</p> <p>⑧ 読書を「好」む
はなたば</p> <p>⑨ 大きい「花束」
きのう</p> <p>⑩ 「昨日」のこと</p> | <p>⑪ 氷が「冷」たい
つめ
しゃくよう</p> <p>⑫ 家の「借用」
あ</p> <p>⑬ 水を「浴」びる
あらた</p> <p>⑭ ルールを「改」める
み</p> <p>⑮ 月が「満」ちる
どりよく</p> <p>⑯ 「努力」のあと
か</p> <p>⑰ 皿が「欠」ける
しゅうい</p> <p>⑱ 湖の「周囲」
かいてい</p> <p>⑲ 暗い「海底」
けしき</p> <p>⑳ きれいな「景色」</p> |
|---|---|

1 下の表のひらがなのらんりにローマ字の小文字を書きましょう。

大文字	A	I	U	E	O
	あ a	い i	う u	え e	お o
K	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko
S	さ sa	し si	す su	せ se	そ so
T	た ta	ち ti	つ tu	て te	と to
N	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no
H	は ha	ひ hi	ふ hu	へ he	ほ ho
M	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo
Y	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo
R	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro
W	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を (o) (wo)
N	ん n				

学年	21
組	ローマ字①
名前	

四年
ステップ1

1 下の表のひらがなのらんりにローマ字の小文字を書きましょう。

大文字	A	I	U	E	O
	あ a	い i	う u	え e	お o
G	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go
Z	ざ za	じ ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo
D	だ da	ぢ (ji) [di]	づ (zu) [du]	で de	ど do
B	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo
P	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po

学年	21 ローマ字②
組	
名前	

四年
ステップ1

1 下の表のひらがなのらんりにローマ字の小文字を書きましょう。

K	きゃ	kya	きゅ	kyu	きょ	kyo
S	しゃ	sya	しゅ	syu	しょ	syo
T	ちゃ	tya	ちゅ	tyu	ちょ	tyo
N	にゃ	nya	にゅ	nyu	にょ	nyo
H	ひゃ	hya	ひゅ	hyu	ひょ	hyo
M	みゃ	mya	みゅ	myu	みょ	myo
R	りゃ	rya	りゅ	ryu	りょ	ryo
G	ぎゃ	gya	ぎゅ	gyu	ぎょ	gyo
Z	じゃ	zya[ja]	じゅ	zyu[ju]	じょ	zyo[jo]
D	ぢゃ	zya[dya]	ぢゅ	zyu[dyu]	ぢょ	zyo[dyo]
B	びゃ	bya	びゅ	byu	びょ	byo
P	ぴゃ	pya	ぴゅ	pyu	ぴょ	pyo

学年	21 ローマ字③
組	
名前	

四年
ステップ1

学 年	22
組	
名 前	

漢字のまとめ（読む）①

1 漢字の読みがなを「」に書きましよう。

① 受話器 「じゅわき」

② 失望 「しつぼう」

③ 好物のすし 「こうぶつ」

④ 勝敗 「しょうはい」

⑤ よい天候 「てんこう」

⑥ 週末 「しゅうまつ」

⑦ 説教 「せつきょう」

⑧ 発達 「はったつ」

⑨ 住民 「じゅうみん」

⑩ ニュートンの伝記 「でんき」

⑪ 参加 「さんか」

⑫ 勝利 「しょうり」

⑬ 録音 「ろくおん」

⑭ 関心 「かんしん」

⑮ 望遠鏡 「ぼうえんきょう」

⑯ 卒業式 「そつぎょうしき」

⑰ 放課後 「ほうかご」

⑱ 観光客 「かんこうきゃく」

⑲ 例文 「れいぶん」

⑳ 運転士 「うんてんし」

22 漢字のまとめ（読む）②

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- 「おお」 「そうこ」
- ① 大| 大きな倉| 庫
「みち」 「あんない」
- ② 道| を 案| 内する
- ③ 大| 喜| び
「おおよろこ」
- ④ 新| 型| の 車|
「しんがた」 「くるま」
- ⑤ 夫| と つ ま
「おっと」
- ⑥ 未| 来| の 世| 界|
「みらい」 「せかい」
- ⑦ ぼ| く| の 国| 語| 辞| 典|
「こくごじてん」
- ⑧ そ| ば| 粉|
「れんそう」
- ⑨ 連| 想| ゲ| ー| ム|
「な」 「はな」
- ⑩ 菜| の 花|
-
- ⑪ 健| 康| な 人|
「けんこう」 「ひと」
- ⑫ 水| の 配| 給|
「みず」 「はいきゅう」
- ⑬ 目| が 覚| める
「め」 「さ」
- ⑭ 実| 験| を する
「じっけん」
- ⑮ 残| 暑| が 続| く
「ざんしょ」 「つづ」
- ⑯ こ| こ| 「な」
「こ」
- ⑰ 子| ども が 泣| く
「ほん」 「か」
- ⑱ 本| を 借| りる
「こっき」
- ⑲ 国| 旗| を あげる
「けってん」
- ⑳ わ| た| しの 欠| 点|
「かんさつ」
- ㉑ へ| チ| マ| の 観| 察|

22 漢字のまとめ（読む）③

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

① し ぜん

① 自 然

② し そん

② 子 孫

③ ひがん たっせい

③ 悲 願 達 成

④ さい こう

④ 最 高

⑤ ひん しゅ

⑤ 品 種

⑥ ぐん たい

⑥ 軍 隊

⑦ さん みやく

⑦ 山 脈

⑧ はい かんこうじ

⑧ 配 管 工 事

⑨ はい ち

⑨ 配 置

⑩ とく てん

⑩ 得 意

⑪ しょうめいきぐ

⑪ 照 明 器 具

⑫ まん ぞく

⑫ 満 足

⑬ せつ やく

⑬ 節 約

⑭ いん さつ

⑭ 印 刷

⑮ せん しゅ

⑮ 選 手

⑯ ふくぎちよう

⑯ 副 議 長

⑰ し かいしゃ

⑰ 司 会 者

⑱ かい てい

⑱ 海 底

⑲ ろう どう

⑲ 労 働

⑳ けい き

⑳ 景 気

22 漢字のまとめ（読む）④

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましょう。

- ① 博 物 館 に 行 く
「はくぶつかん」「い」
- ② 博 物 館 に 行 く
「さほう」「まな」
- ③ 作 法 を 学 ぶ
「ひこうき」「の」
- ④ 飛 行 機 に 乗 る
「かもつ」
- ⑤ 貨 物 を お ろ す
「めば」
- ⑥ 芽 生 え る
「くんれん」
- ⑦ ひ な ン 訓 練
「しんぱい」「たね」
- ⑧ 心 配 の 種
「あか」「とうだい」
- ⑨ 赤 い 灯 台
「だいじん」「く」
- ⑩ 大 臣 が 来 る
「くだ」「みず」「とお」
- ⑪ 管 に 水 を 通 す
「かくせい」「まち」
- ⑫ 学 生 の 街
「わ」
- ⑬ う き 輪
「せいこう」「しっぱい」
- ⑭ 成 功 と 失 敗
「いのち」「すく」
- ⑮ 命 を 救 う
「ぞう」「はな」
- ⑯ 象 の 鼻
「ぶじ」「かえ」
- ⑰ 無 事 に 帰 る
「れい」「しるし」
- ⑱ お 礼 の 印
「ちゅうもく」「まと」
- ⑲ 注 目 の 的
「かぞく」「やしな」
- ⑳ 家 族 を 養 う
「かくち」「ひと」
- ㉑ 各 地 の 人
「かくち」「ひと」

22

漢字のまとめ（読む）⑤

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

① あいどくしよ

① 愛 読 書

「きようえい」

② 競 泳

「へいたい」

③ 兵 隊

「さくせん」

④ 作 戦

「ゆうや」

⑤ タ 焼 け

「いた」「かこ」

⑥ 板 で 囲 う

「いっちようえん」

⑦ 一 兆 円

「さっちゆう」

⑧ 殺 虫 ざい

「かた」「けっしん」

⑨ 固 い 決 心

「へんか」

⑩ 変 化

「きこうぶん」

⑪ 紀 行 文

「いけ」「まわ」

⑫ 池 の 周 り

「じょうりく」

⑬ 上 陸

「けんこくきねん」

⑭ 建 国 記 念 の 日ひ

「かいさつぐち」

⑮ 改 札 口

「うりよう」

⑯ 雨 量

「さんか」

⑰ 参 加

「しけん」

⑱ 試 験

「こうがいもんだい」

⑲ 公 害 問 題

「さくひん」「かんせい」

⑳ 作 品 の 完 成

22

漢字のまとめ（読む）⑥

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましょう。

- ① 愛の心
「あい」「こころ」
- ② 先を争う
「さき」「あらし」
- ③ 紙で包む
「かみ」「つつ」
- ④ てきと戦う
「たたか」
- ⑤ 魚を焼く
「さかな」「や」
- ⑥ 勇ましい
「いさま」
- ⑦ お寺の本堂
「てら」「ほんどう」
- ⑧ 兄を信じる
「あに」「しん」
- ⑨ 一億円のお金
「いちおくえん」「かね」
- ⑩ 牧場の牛
「ぼくじょう」「うし」
-
- ⑪ 冷たい風
「つめ」「かぜ」
- ⑫ 予定を変える
「よてい」「か」
- ⑬ 周りの人
「まわ」「ひと」
- ⑭ 子犬が産まれる
「こいぬ」「う」
- ⑮ 陸と海
「りく」「うみ」
- ⑯ とお「ぎょじょう」
遠い漁場
「とおい」「うしほ」
- ⑰ 気温が低い
「きおん」「ひく」
- ⑱ とざん「こころ」
登山を試みる
「かなら」「か」
- ⑲ 必ず勝つ
「しず」「きょうしつ」
- ⑳ 静かな教室
「しずかな」「きょうしつ」

22 漢字のまとめ（読む）⑦

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

① とうひよう

② さべつ

③ ちようせつ

④ そくめん

⑤ ふちゆうい

⑥ えいご

⑦ しょくえん

⑧ れきし

⑨ あんぜんちたい

⑩ うみべ

⑪ ゆうはん

⑫ まつばやし

⑬ せいと

⑭ あさ

⑮ がっしょう

⑯ どりよく

⑰ えだを折る

⑱ びょうきを治す

⑳ かいすいよく

㉑ 海水浴

㉒ 梅雨前線

㉓ 浅い川

㉔ 生徒

㉕ 松林

㉖ タ飯

㉗ せいと

㉘ 梅雨前線

㉙ 浅い川

㉚ 生徒

㉛ 松林

㉜ タ飯

㉝ せいと

㉞ 梅雨前線

㉟ 浅い川

㊱ 生徒

㊲ 松林

㊳ タ飯

㊴ せいと

㊵ 梅雨前線

㊶ 浅い川

㊷ 生徒

㊸ 松林

㊹ タ飯

㊺ せいと

㊻ 梅雨前線

㊼ 浅い川

㊽ 生徒

㊾ 松林

㊿ タ飯

22 漢字のまとめ（読む）⑧

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- | | |
|--|---|
| <p>① 清 <u>い</u> 流 <u>れ</u></p> <p>② 一 <u>位</u> の 賞 <u>品</u></p> <p>③ 命 <u>令</u> を 受 <u>け</u> る</p> <p>④ 衣 <u>服</u> を た た <u>お</u></p> <p>⑤ 手 <u>を</u> 挙 <u>げ</u> る</p> <p>⑥ 便 <u>利</u> な 道 <u>具</u></p> <p>⑦ 遠 <u>足</u> の 費 <u>用</u></p> <p>⑧ 犬 <u>と</u> 散 <u>歩</u> す る</p> <p>⑨ 雪 <u>が</u> 積 <u>も</u> る</p> <p>⑩ 反 <u>省</u> を す る</p> | <p>⑪ 機 <u>械</u> の 工 <u>場</u></p> <p>⑫ 今 <u>年</u> の 目 <u>標</u></p> <p>⑬ 早 <u>起</u> き に 努 <u>め</u> る</p> <p>⑭ 病 <u>気</u> を 治 <u>す</u></p> <p>⑮ 希 <u>望</u> し た 係</p> <p>⑯ 足 <u>を</u> こ <u>っ</u> 折 <u>す</u> る</p> <p>⑰ 気 <u>の</u> 毒 <u>い</u></p> <p>⑱ 水 <u>を</u> 浴 <u>び</u> る</p> <p>⑲ 貯 <u>金</u> を す る</p> <p>⑳ 航 <u>空</u> 機 <u>に</u> 乗 <u>る</u></p> |
|--|---|

22 漢字のまとめ（読む）⑨

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

- | | | | | | |
|---|---|---|------|-----|---|
| ① | 単 | 位 | 「たん | い | 」 |
| ② | 静 | 止 | 「せい | し | 」 |
| ③ | 粉 | 末 | 「ふん | まつ | 」 |
| ④ | 救 | 助 | 「きゅう | じょ | 」 |
| ⑤ | 給 | 料 | 「きゅう | りょう | 」 |
| ⑥ | 包 | 帯 | 「ほう | たい | 」 |
| ⑦ | 停 | 車 | 「てい | しゃ | 」 |
| ⑧ | 祝 | 福 | 「しゅく | ふく | 」 |
| ⑨ | 栄 | 養 | 「えい | よう | 」 |
| ⑩ | 味 | 覚 | 「み | かく | 」 |
-
- | | | | | | |
|---|---|---|-----|----|---|
| ⑪ | 題 | 材 | 「だい | ざい | 」 |
| ⑫ | 必 | 要 | 「ひつ | よう | 」 |
| ⑬ | 残 | 念 | 「ざん | ねん | 」 |
| ⑭ | 競 | 馬 | 「けい | ば | 」 |
| ⑮ | 広 | 告 | 「こう | こく | 」 |
| ⑯ | 発 | 芽 | 「はつ | が | 」 |
| ⑰ | 特 | 別 | 「とく | べつ | 」 |
| ⑱ | 勇 | 気 | 「ゆう | き | 」 |
| ⑲ | 年 | 輪 | 「ねん | りん | 」 |
| ⑳ | 発 | 熱 | 「はつ | ねつ | 」 |

22

漢字のまとめ（読む）⑩

学 年	
組	
名 前	

1 漢字の読みがなを「 」に書きましよう。

〔せんごくじだい〕
〔てんけいてき〕

① 戦 国 時 代
典 型 的

〔あさめしまえ〕
〔けんこくきねんのひ〕

② 朝 飯 前
建 国 記 念 の 日

〔ひゃっかてん〕
〔てんこうふじゅん〕

③ 百 貨 店
天 候 不 順

〔きかいたい〕
〔かていさいえん〕

④ 器 械 体 そ う
家 庭 菜 園

〔こっかいぎじどう〕
〔ひんしゅかいりょう〕

⑤ 国 会 議 事 堂
品 種 改 良

〔りそうのついきゅう〕
〔しょうけいもじ〕

⑥ 理 想 の 追 求
象 形 文 字

〔きゅうきゅうしゃ〕
〔にっしょうじかん〕

⑦ 救 急 車
日 照 時 間

〔ぼうえんきょう〕
〔いっちょうにせんおく〕

⑧ 望 遠 鏡
一 兆 二 千 億

〔かりものきょうそう〕
〔てんねんきねんぶつ〕

⑨ 借 り 物 競 走
天 然 記 念 物

〔せつきよくてき〕
〔どうろひょう〕

⑩ 積 極 的
道 路 標 し き

22 漢字のまとめ (書く) ①

学 年	
組	
名 前	

- ① ひらがなを漢字になおして「」に書きましょう。
- ① じゅわき 「受話器」
- ② しつぼう 「失望」
- ③ こうぶつのすし 「好物」のすし
- ④ しょうはい 「勝敗」
- ⑤ よいてんこう よい「天候」
- ⑥ しゅうまつ 「週末」
- ⑦ せつきよう 「説教」
- ⑧ はったつ 「発達」
- ⑨ じゅうみん 「住民」
- ⑩ ニュートンの「伝記」
-
- ⑪ さんか 「参加」
- ⑫ しょうり 「勝利」
- ⑬ ろくおん 「録音」
- ⑭ かんしんがある 「関心」がある
- ⑮ ぼうえんきよう 「望遠鏡」
- ⑯ そつぎようしき 「卒業式」
- ⑰ ほうかご 「放課後」
- ⑱ かんこうきやく 「観光客」
- ⑲ れいぶん 「例文」
- ⑳ うんてんし 「運転士」

22 漢字のまとめ (書く) ②

学 年	
組	
名 前	

- 1 ひらがなを漢字になおして「」に書きましょう。
- ① おおきなそうこ
「大」きな「倉庫」
- ② みちをあんないする
「道」を「案内」する
- ③ おおよろこび
「大 喜」び
- ④ しんがたのくるま
「新 型」の「車」
- ⑤ おっととつま
「夫」とつま
- ⑥ みらいのせかい
「未来」の「世界」
- ⑦ ぼくのこくごじてん
ぼくの「国語辞典」
- ⑧ そばこ
そば「粉」
- ⑨ れんそうゲーム
「連想」ゲーム
- ⑩ なのはな
「菜」の「花」
-
- ⑪ けんこうなひと
「健康」な「人」
- ⑫ みずのはいきゆう
「水」の「配 給」
- ⑬ めがさめる
「目」が「覚」める
- ⑭ じっけんをする
「実 験」をする
- ⑮ ざんしょがつづく
「残 暑」が「続」く
- ⑯ こどもがなく
「子」どもが「泣」く
- ⑰ ほんをかりる
「本」を「借」りる
- ⑱ こっきをあげる
「国旗」をあげる
- ⑲ わたしのけってん
わたしの「欠 点」
- ⑳ へちまのかんさつ
へちまの「観 察」

22 漢字のまとめ (書く) ③

学 年	
組	
名 前	

1 ひらがなを漢字になおして「」に書きましよう。

- | | | | | |
|---|-----|---|----|----|
| ① | 〔自〕 | 然 | 然 | 〔〕 |
| ② | 〔子〕 | 孫 | 孫 | 〔〕 |
| ③ | 〔悲〕 | 願 | 達成 | 〔〕 |
| ④ | 〔最〕 | 高 | 高 | 〔〕 |
| ⑤ | 〔品〕 | 種 | 種 | 〔〕 |
| ⑥ | 〔軍〕 | 隊 | 隊 | 〔〕 |
| ⑦ | 〔山〕 | 脈 | 脈 | 〔〕 |
| ⑧ | 〔配〕 | 管 | 工事 | 〔〕 |
| ⑨ | 〔配〕 | 置 | 置 | 〔〕 |
| ⑩ | 〔得〕 | 意 | 意 | 〔〕 |
| ⑪ | 〔照〕 | 明 | 器具 | 〔〕 |
| ⑫ | 〔満〕 | 足 | 足 | 〔〕 |
| ⑬ | 〔節〕 | 約 | 約 | 〔〕 |
| ⑭ | 〔印〕 | 刷 | 刷 | 〔〕 |
| ⑮ | 〔選〕 | 手 | 手 | 〔〕 |
| ⑯ | 〔副〕 | 議 | 議長 | 〔〕 |
| ⑰ | 〔司〕 | 会 | 会者 | 〔〕 |
| ⑱ | 〔海〕 | 底 | 底 | 〔〕 |
| ⑲ | 〔労〕 | 働 | 働 | 〔〕 |
| ⑳ | 〔景〕 | 気 | 気 | 〔〕 |

22

漢字のまとめ

(書く) ④

学 年	
組	
名 前	

- 1 ひらがなを漢字になおして「」に書きましよう。
- ① はくぶつかんにいく
「博物館」に「行」く
- ② さほうをまなぶ
「作法」を「学」ぶ
- ③ ひこうきにのる
「飛行機」に「乗」る
- ④ かもつをおろす
「貨物」をおろす
- ⑤ めばえる
「芽生」える
- ⑥ ひなんくんれん
ひなん「訓練」
- ⑦ しんぱいのたね
「心配」の「種」
- ⑧ あかいとうだい
「赤」い「灯台」
- ⑨ だいじんがくる
「大臣」が「来」る
- ⑩ くだにみずをとおす
「管」に「水」を「通」す
- ⑪ がくせいのみち
「学生」の「街」
- ⑫ うきわ
うき「輪」
- ⑬ せいこうとしっぱい
「成功」と「失敗」
- ⑭ いのちをすくう
「命」を「救」う
- ⑮ ぞうのはな
「象」の「鼻」
- ⑯ ぶじにかえる
「無事」に「帰」る
- ⑰ おれいのしるし
お「礼」の「印」
- ⑱ ちゅうもくのまと
「注目」の「的」
- ⑲ かぞくをやしなう
「家族」を「養」う
- ⑳ かくちのひと
「各地」の「人」

22

漢字のまとめ (書く) ⑤

学 年	
組	
名 前	

1 ひらがなを漢字になおして「」に書きましょう。

- ① あいのこころ
「愛」の「心」
- ② さきをあらそう
「先」を「争」う
- ③ かみでつつむ
「紙」で「包」む
- ④ てきとたたかう
てきと「戦」う
- ⑤ さかなをやく
「魚」を「焼」く
- ⑥ いさましい
「勇」ましい
- ⑦ おてらのほんどう
お「寺」の「本堂」
- ⑧ あにをしんじる
「兄」を「信」じる
- ⑨ いちおくえんのおかね
「一億円」のお「金」
- ⑩ ぼくじょうのうし
「牧場」の「牛」
- ⑪ つめたいかぜ
「冷」たい「風」
- ⑫ よていをかえる
「予定」を「変」える
- ⑬ まわりのひと
「周」りの「人」
- ⑭ こいぬがうまれる
「子犬」が「産」まれる
- ⑮ りくと うみ
「陸」と「海」
- ⑯ とおいぎょじょう
「遠」い「漁場」
- ⑰ きおんがひくい
「気温」が「低」い
- ⑱ とざんをこころみる
「登山」を「試」みる
- ⑲ かならずかつ
「必」ず「勝」つ
- ⑳ しずかなきょうしつ
「静」かな「教室」

22

漢字のまとめ (書く) ⑥

学 年	
組	
名 前	

① ひらがなを漢字になおして「」に書きましよう。

- | | |
|-----------|-------------|
| ① あいどくしよ | ① きこうぶん |
| 「愛 読 書」 | 「紀 行 文」 |
| ② きようえい | ② いけのまわり |
| 「競 泳」 | 「池」の「周」り |
| ③ へいたい | ③ じょうりく |
| 「兵 隊」 | 「上 陸」 |
| ④ さくせん | ④ けんこくきねんの日 |
| 「作 戦」 | 「建 国 記 念」の日 |
| ⑤ ゆうやけ | ⑤ かいさつぐち |
| 「夕 焼」け | 「改 札 口」 |
| ⑥ いたでかこう | ⑥ うりよう |
| 「板」で「囲」う | 「雨 量」 |
| ⑦ いちちようえん | ⑦ さんか |
| 「一 兆 円」 | 「参 加」 |
| ⑧ さっちゅうざい | ⑧ しけん |
| 「殺 虫」ざい | 「試 験」 |
| ⑨ かたいけっしん | ⑨ こうがいもんだい |
| 「固」い「決 心」 | 「公 害 問 題」 |
| ⑩ へんか | ⑩ さくひんのかんせい |
| 「変 化」 | 「作 品」の「完 成」 |

22 漢字のまとめ (書く) ⑦

学 年	
組	
名 前	

1 ひらがなを漢字になおして「」に書きましよう。

- | | | | | | |
|---|---------|-----------|---|----------|------------|
| ① | とうひょう | 〔投 票〕 | ⑪ | ゆうはん | 〔夕 飯〕 |
| ② | さべつ | 〔差 別〕 | ⑫ | まつばやし | 〔松 林〕 |
| ③ | ちようせつ | 〔調 節〕 | ⑬ | せいと | 〔生 徒〕 |
| ④ | そくめん | 〔側 面〕 | ⑭ | あさいかわ | 〔浅〕い〔川〕 |
| ⑤ | ふちゅうい | 〔不 注 意〕 | ⑮ | ばいうぜんせん | 〔梅 雨 前 線〕 |
| ⑥ | えいご | 〔英 語〕 | ⑯ | がっしょう | 〔合 唱〕 |
| ⑦ | しよくえん | 〔食 塩〕 | ⑰ | どりよく | 〔努 力〕 |
| ⑧ | れきし | 〔歴 史〕 | ⑱ | えだをふる | えだを〔折〕る |
| ⑨ | あんぜんちたい | 〔安 全 地 帯〕 | ⑲ | びようきをなおす | 〔病 気〕を〔治〕す |
| ⑩ | うみべ | 〔海 辺〕 | ⑳ | かिसういよく | 〔海 水 浴〕 |

22

漢字のまとめ (書く) ⑧

学 年	
組	
名 前	

1 ひらがなを漢字になおして「」に書きましよう。

- ① きよいながれ
「清」い 「流」れ
- ② いちいのしょうひん
「一位」の「賞品」
- ③ めいれいをうける
「命令」を「受」ける
- ④ いふくをたたむ
「衣服」をたたむ
- ⑤ てをあげる
「手」を「挙」げる
- ⑥ べんりなどうぐ
「便利」な「道具」
- ⑦ えんそくのひよう
「遠足」の「費用」
- ⑧ いぬとさんぽする
「犬」と「散歩」する
- ⑨ ゆきがつもる
「雪」が「積」もる
- ⑩ はんせいをする
「反省」をする
- ⑪ きかいのこうじょう
「機械」の「工場」
- ⑫ ことしのもくひよう
「今年」の「目標」
- ⑬ はやおきにつとめる
「早起」き「努」める
- ⑭ びようきをなおす
「病 気」を「治」す
- ⑮ きぼうしたかかり
「希望」した「係」
- ⑯ あしをこっせつ する
「足」をこっ「折」する
- ⑰ きのどく
「気」の「毒」
- ⑱ みずをあびる
「水」を「浴」びる
- ⑲ ちよきんをする
「貯 金」をする
- ⑳ こうくうきにのる
「航空機」に「乗」る

22

漢字のまとめ (書く) ⑩

学 年	
組	
名 前	

1 ひらがなを漢字になおして「」に書きましよう。

- ① せんごくじだい 「戦国時代」
- ② あさめしまえ 「朝飯前」
- ③ ひゃっかてん 「百貨店」
- ④ きかいたい 「器械体」そう
- ⑤ こっかいぎじどう 「国会議事堂」
- ⑥ りそう ついきゅう 「理想」を「追求」
- ⑦ きゅうきゅうしゃ 「救急車」
- ⑧ ぼうえんきょう 「望遠鏡」
- ⑨ かりものきょうそう 「借り物競走」
- ⑩ せつきよくてき 「積極的」
-
- ⑪ てんけいてき 「典型」的
- ⑫ けんこくきねんのひ 「建国記念の日」
- ⑬ てんこうふじゅん 「天候不順」
- ⑭ かにさいえん 「家庭菜園」
- ⑮ ひんしゅかいりょう 「品種改良」
- ⑯ しょうけいもじ 「象形文字」
- ⑰ しょうじかん 「日照時間」
- ⑱ いっちょうにせんおく 「一兆二千億」
- ⑲ てんねんきねんぶつ 「天然記念物」
- ⑳ どうろひょう 「道路標」しき